

# SKYHIGH

2.4GHz 4CH OPTICAL FLOW & TILT CAMERA DRONE

## INSTRUCTION MANUAL

ジーフォース スカイハイ ユーザーマニュアル

Ver 1.01

## 目次

1. 安全上のご注意	
はじめに .....	02
2. 製品について	
製品仕様 .....	03
内容物 .....	03
送信機各部名称 .....	03
操作モードについて .....	04
オプティカルフローポジショニング .....	04
3. フライトの準備	
送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電 .....	05
機体の準備 .....	06
スマートフォンの取付け .....	06
プロペラの交換方法 .....	07
操作モードの変更 .....	07
機体と送信機の接続(バインド) .....	08
4. フライトをはじめる	
離陸と着陸 .....	09
基本操作 .....	10
ジャイロリセット .....	11
スピードの変更 .....	11
緊急停止 .....	11
オリエンテーションモード .....	12
トリム調整 .....	12
5. アプリとの連携	
スマートフォンとの接続 .....	13
アプリの説明 .....	14
アプリ画面の説明 .....	14
スマートフォンからの操縦方法 .....	15~16
写真・動画の撮影 .....	17
6. サポート情報	
FAQ .....	18~19
アフターパーツ .....	20
製品サポートについて .....	20

# 1. 安全上のご注意 **必ずお守り下さい**

## はじめに

この度はジーフォースSKYHIGH(スカイハイ)をご購入頂き、誠にありがとうございます。当製品は送信機から最大90度の角度を調整可能なWi-Fiカメラを搭載し、手軽に高画質の空撮が楽しめます。また、3軸ジャイロ+加速度センサー、気圧センサーに加え、底部カメラにビジョン(映像)センサーを搭載しており、初めての方でも非常に安定したホバリングが行えます。安全にフライトして頂くため、必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項をお守り下さい。

## フライトについて

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい。他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。
- プライバシー確保へご配慮下さい。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮下さい。

## ケガにご注意下さい

- 本製品の対象年齢は14歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。機体を人に近づけたり、ハンドキャッチはお止め下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

## 本製品はLi-Poバッテリーを採用しています

Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

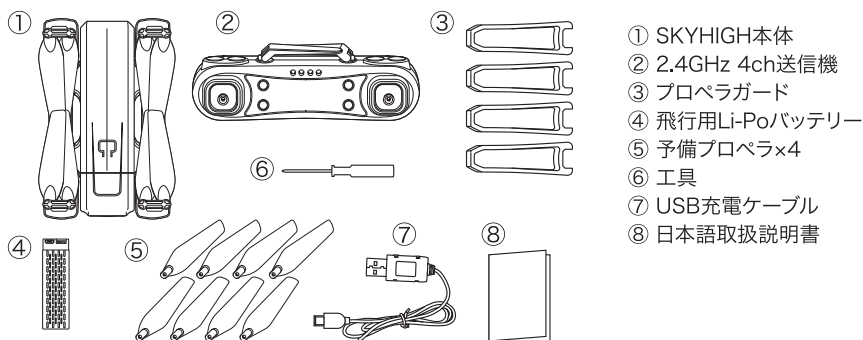
- 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合、絶対に使用せず、廃棄して下さい。
- バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。
- 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
- 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。
- 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間沈めて放電して下さい。容量がゼロであることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

## 2. 製品について

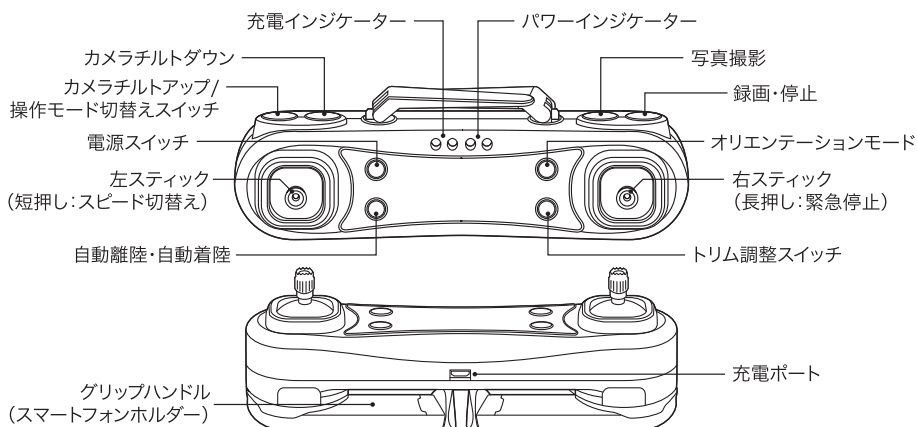
### 製品仕様

送信機	2.4GHz 4ch MODE1/MODE2切替え仕様		
全長	180mm	充電時間	約150分
全幅	218mm	飛行可能時間	約18分
全高	58mm	電波到達距離	約100m(送信機) / 60m(Wi-Fi)
重量	185g(バッテリー含む)	動画解像度	2048×1080 (MP4形式)
プロペラ全長	68mm	写真解像度	4096×3072 (JPG形式)
バッテリー	3.7V 1800mAh	カメラ動作角	およそ90度(電動)

### 内容物



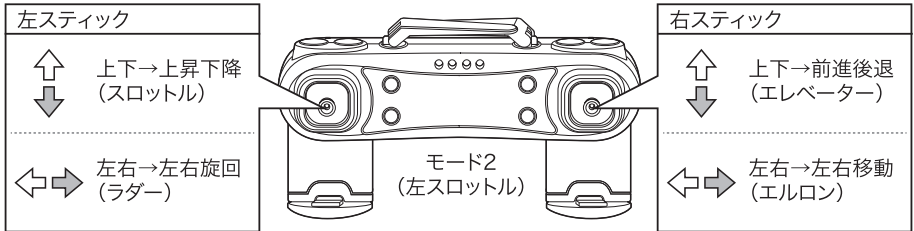
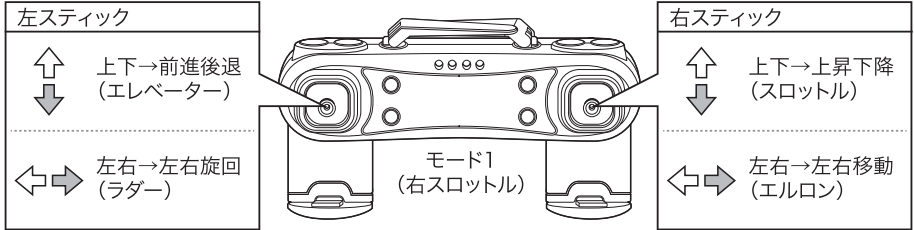
### 送信機各部分名称



## 操作モードについて

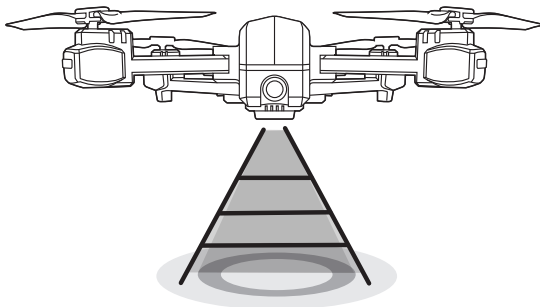
当製品に付属の送信機では、ドローンの操作方法で主流のモード1とモード2のどちらの操作方法でもお使い頂く事ができます。

それぞれのモードで、スティックを動かした時の機体の挙動が大きく変わってきます。ドローンの操作が初めての方は、操作方法をよく確認の上、操縦に臨んで下さい。



## オプティカルフローポジショニング

当製品は底部カメラにビジョン(映像)センサーを搭載しており、捉えている映像のズレを検知して、姿勢を自動制御するオプティカルフローポジショニングにより、安定した姿勢制御を可能にします。



### 3. フライトの準備

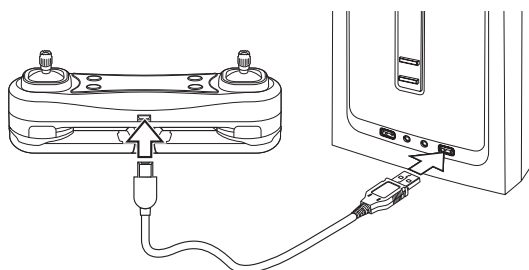
#### 送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電

##### 送信機を充電する

送信機には充電式のバッテリーが内蔵されています。ご使用前に付属のUSB充電ケーブルで充電を行って下さい。送信機の充電インジケータが赤点灯から消灯になれば充電完了です。



充電インジケータ



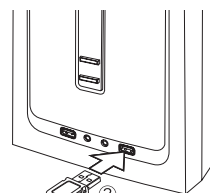
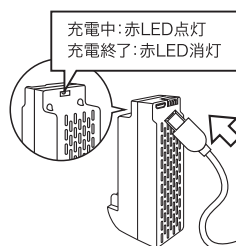
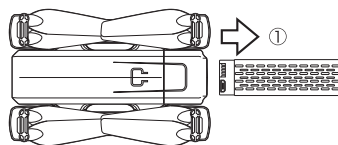
送信機充電時間: 約60分

駆動時間: 約20時間

##### Li-Poバッテリーを充電する

購入時、機体のバッテリーは充電されていません。ご使用前に機体からバッテリーを取り外し、十分に充電を行ってからご使用下さい。充電しないで使用すると、過放電状態となり充電できなくなります。

1. 機体からバッテリーを取り外します。
2. バッテリーのコネクタにUSB充電ケーブルを挿します。
3. USB充電ケーブルのUSB端子をPCのUSBポートに挿します。充電中はバッテリー内部の赤LEDが点灯、LEDが消えると充電完了です。
4. 充電完了後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい。



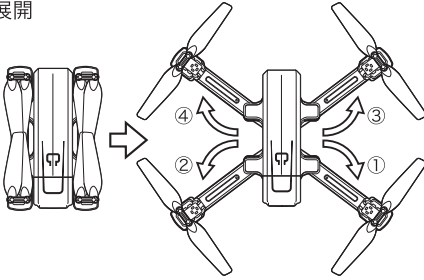
- 充電中はそこから離れず、異常事態に備えて下さい。
- バッテリーに異臭や変形、異常な発熱、発煙等の異常があった場合、直ちに充電を中止し、充電ケーブルをPCから取り外して下さい。
- 充電には、必ず付属の専用充電ケーブルをお使い下さい。
- 充電完了後はバッテリーと充電ケーブルをつないだ状態で放置せず、速やかにバッテリーと充電ケーブルを取り外して下さい。

## 機体の準備

### アームの展開と収納

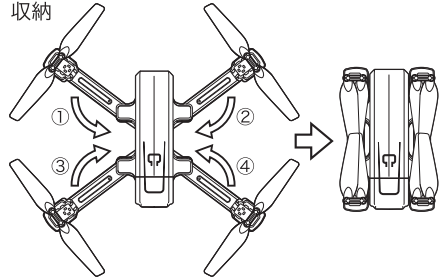
下図の順にアームを回転する事で、機体の展開と収納が行えます。

展開



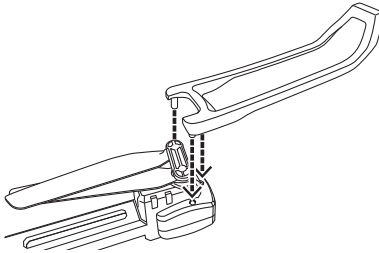
展開時は下段のアームから展開します。

収納

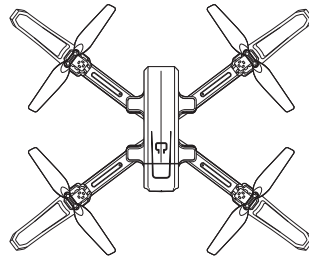


収納時は上段のアームから収納します。

### プロペラガードの取付け



①プロペラガードを穴の位置に合わせて奥までしっかりと挿し込みます



②同様に全てのアームに取り付けます

### スマートフォンの取付け

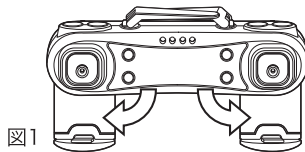


図1

- ① グリップハンドルを出します。(図1)
- ② ハンドルのアーム部を下に引っぱりスマートフォンを取り付けしっかりと挟み込みます。(図2)

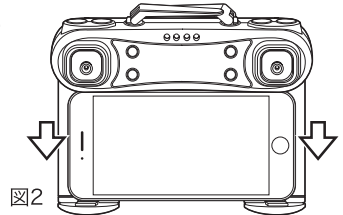


図2

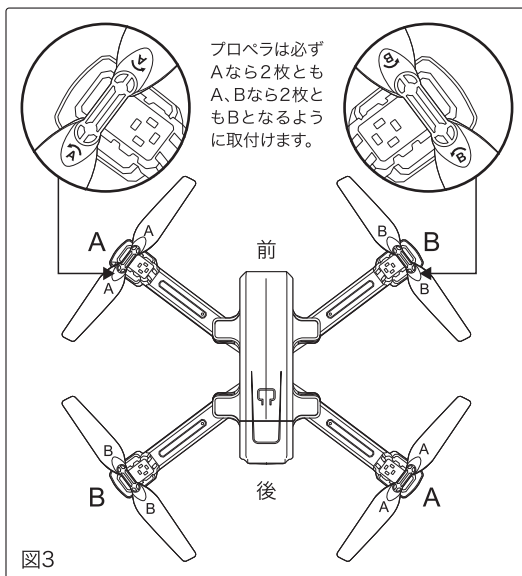
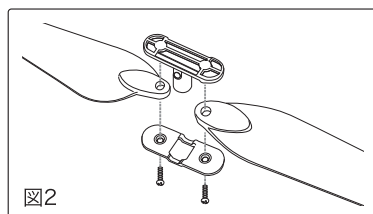
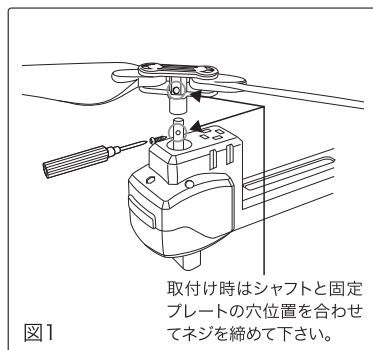


- ご使用前にスマートフォンがしっかりとセットされているか、フライト前によく確認して下さい。使用中にスマートフォンが落下し、破損する恐れがあります。本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

## プロペラの交換方法

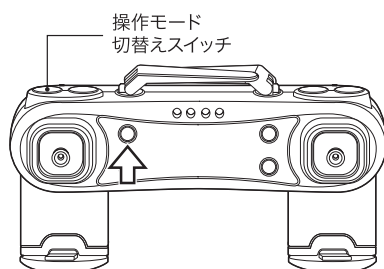
プロペラの取付け位置には決まりがあります。取付け位置を誤るとフライトができないので、下記説明に従って正しい位置に取付けて下さい。

1. プロペラ固定プレートを止めているネジを外し、プロペラ固定プレートを取り外します。(図1)
2. 固定プレートのネジを外してプロペラを取り外します。(図2)
3. 下図を参照し(図3)、プロペラに刻印されている“A”と“B”を間違えないように取付けます。



## 操作モードの変更

送信機の操作モードは標準はモード1で起動します。操作モード切替えスイッチを押しながら電源スイッチを入れることで、モード2に切替える事ができます。

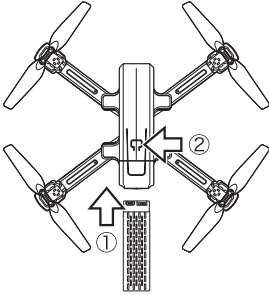


- モードの変更は送信機に記憶されません。モード2にする場合は、電源を入れるたびに上記手順を行って下さい。



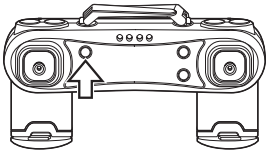
## 機体と送信機の接続 (バインド)

フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行って下さい。



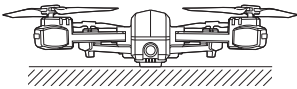
### 1. バッテリーを挿入し、機体の電源を入れる

バッテリーを機体後部にしっかりと差し込みます。機体の電源スイッチを長押しすると、機体のLEDが点滅し、電源が入ります。

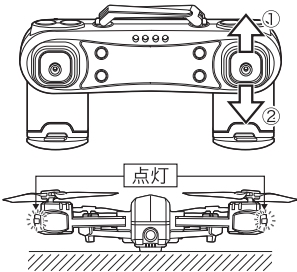


### 2. 機体を水平な場所に置き、送信機の電源を入れる

機体を水平な場所に置き、安全のため1m以上離れてから、送信機の電源スイッチを長押しして電源を入れます。



※モード2で使用する場合は7Pの操作モードの変更を参照して下さい。



### 3. 送信機の右スティックを上→下と動かします

送信機から「ピッ・ピーツ」と音がし、機体のLEDが点滅から点灯に変わればバインド完了です。

※モード2で使用する場合は操作モードを変更した後、左スティックを上→下と動かします。



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- 本体に破損が無いが、全てのプロペラに欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意下さい。
- フライト終了後は必ず機体と送信機の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、機体のバッテリーを満充電後1～2分程フライトさせ、ある程度減らした状態で保管して下さい。

## 4. フライトをはじめる

### 離陸と着陸

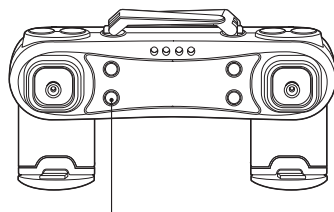
#### 自動離陸 / 自動着陸

##### 自動離陸:

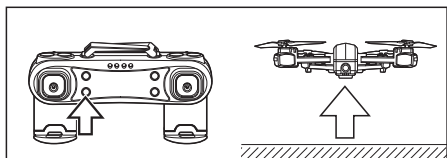
1. バインドされた状態で自動離陸・着陸スイッチを押します。
2. プロペラが回転し、一定の高度まで機体が上昇します。

##### 自動着陸:

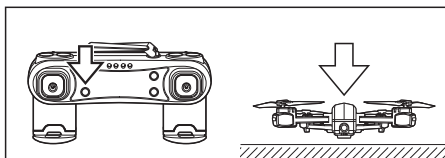
1. 空中で自動離陸・着陸スイッチを押します。
2. 徐々に降下してくるので、舵を切りながら任意の場所に誘導します。
3. 地面に接地後、停止するまで数回バウンドする事もあるので、プロペラが完全に停止するまで目を離さないで下さい。



自動離陸・着陸スイッチ



自動離陸・着陸スイッチを押すと機体が浮上し、一定の高度まで上昇します。



フライト中に自動離陸・着陸スイッチを押すと、機体が降下し自動で着陸します。

※降下中にスロットルを操作するとキャンセルされます

#### 手動離陸 / 手動着陸

##### 手動離陸:

1. バインドされた状態でスロットルスティックを上上げると、モーターが回転しアイドリング状態となります。(図1)
2. 再度スロットルスティックを上上げると上昇します。

##### 手動着陸:

1. 空中でスロットルスティックを下に下げると降下します。
2. 機体が着地し、モーターの回転が完全に停止するまでスロットルを下に入れ続けて下さい。

##### スロットルスティック

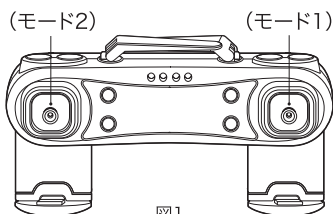
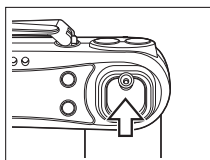
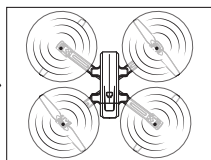


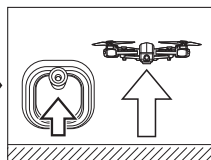
図1



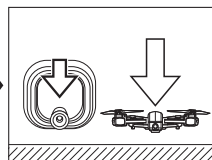
バインドされた状態でスロットルスティックを上1回上げます。



プロペラが回転します。(まだ機体は上昇しません)



再度スロットルスティックを上げると機体上昇します。

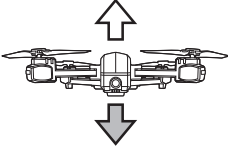
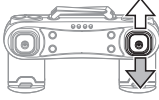
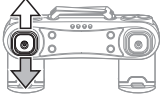
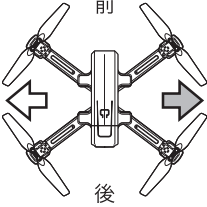
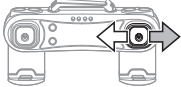

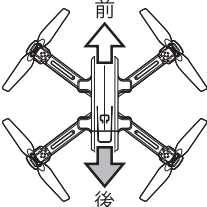
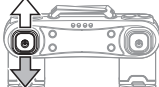
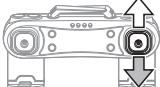
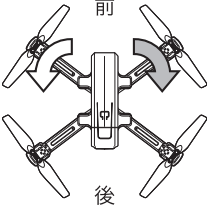
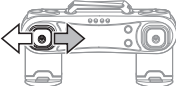
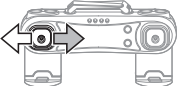


スロットルスティックを下に続けると、機体が降下し着陸します。

## 基本操作

離陸後は左右のスティックを使い、機体を操縦します。操作モードによって操縦の仕方が異なりますので、下記操作方法をよくご確認の上、ご使用下さい。

操作モードは標準ではモード1で動作します。

操作方向	モード1	モード2	
			<b>上昇・降下(スロットル)</b> スティックの上下操作で機体の上昇、降下を行います。スティックを離れた位置で高度を維持します。
			<b>左右移動(エルロン)</b> スティックを傾けた方向に機体が傾き、左右の移動を行います。
			<b>前進・後進(エレベーター)</b> スティックを傾けた方向に機体が傾き、前後の移動を行います。
			<b>左右旋回(ラダー)</b> スティックを傾けた方向に機体が回転し、旋回動作を行います。



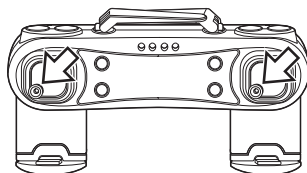
- 離陸後に機体が1方向に流れて行ってしまう場合は、ジャイロリセットをお試し下さい。
- 急に操作すると危険なので、慣れるまではゆっくり動かすようにしましょう。
- 何も操作していなくても気圧の変化により機体は上下します。室内でご利用の際は、扉の開け閉めなどに因る、気圧の変化にご注意下さい。

## ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体が流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

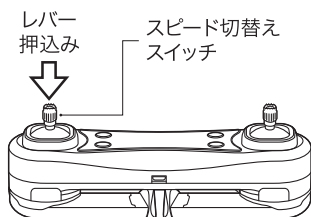
図1

1. 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます。
2. 左スティックを左下、右スティックを左下で同時に保持します。(図1)
3. 送信機から「ピーツ」とアラーム音が鳴り、機体のLEDが点滅したらスティックから指を離します。機体のLEDが点灯に変われば完了です。



## スピードの変更

スピード切替えスイッチを押すとフライトスピードを変更する事ができます。スイッチを押すごとにモードが切り替り、3段階のスピード調整が可能です。(初期状態はノーマルモードになります)



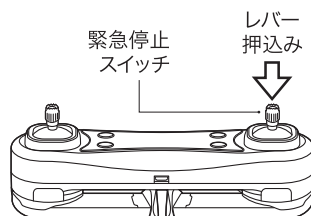
- 「ピピピッ」・・ハイスピードモード
- 「ピピッ」……ミドルスピードモード
- 「ピッ」……ノーマルモード

※ 通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。十分に練習を行ってからお試しください。

## 緊急停止

右操作スティックを押し込むと緊急停止スイッチになります。

スティックを押し込んだ状態でおよそ3秒程すると、送信機から「ピーツ」と音が鳴り、プロペラの回転が止まって緊急停止します。

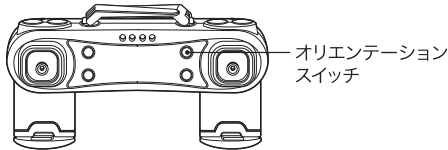


## オリエンテーションモード

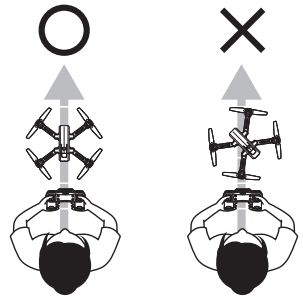
### オリエンテーションモード

オリエンテーションモード中は機首の向きに関係なく、エルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータースティックを前後に動かすと前後に動くようになります。

1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 機体を水平な場所に置き、機体と送信機が一直線に並んだ状態で、オリエンテーションスイッチを押して下さい。
3. 送信機から「ピッピッピッ…」という動作音が鳴り続け、機体のLEDがゆっくりと点滅すれば、オリエンテーションモードが有効になっています。
4. 再度オリエンテーションスイッチを押すとキャンセルできます。



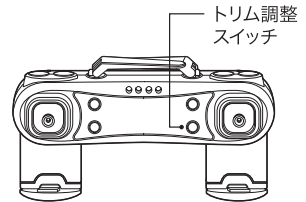
機首が前方を向いた状態で行う



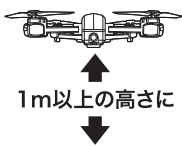
## トリム調整

機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムボタンで微調整することができます。トリム調整は、機体が1m以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上付近では、自身が出す風の影響により正しく調整できないため、必ず1m以上の高度で行います。

1. 機体を1m以上の高さでホバリングさせる
2. トリム調整スイッチを押すと「ピッ」と音がして、トリム調整モードに入ります
3. トリム調整モード中に左右スティックの、エルロンとエレベータを操作する事でトリム調整が行えます
4. 再度トリム調整スイッチを押すと、通常の操作モードに戻ります



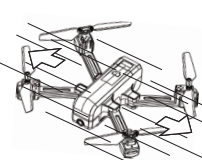
### トリム調整時の重要な注意点



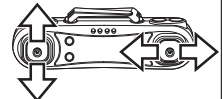
機体が前進または後進してしまう



機体が左右に移動してしまう



移動する方向と反対に数回動かして調整します。



## 5. アプリとの連携

### スマートフォンとの接続

本製品はタブレットやスマートフォンと連携できるWi-Fiカメラを搭載しています。以下の手順でモバイル機器と接続する事で、リアルタイムの映像を見たり、写真や動画を撮影できるようになります。

#### アプリのインストール

お手持ちのスマホに専用アプリ「SKYHIGH-DRONE」をインストールします。

下記QRコード、またはAppStoreおよびGooglePlayから「SKYHIGH-DRONE」を検索し、ダウンロードとインストールを行って下さい。



【iOS】



SKYHIGH-DRONE  
iOS: 8.0以降、  
Android: 4.2以上



【Android】

#### Wi-Fi接続

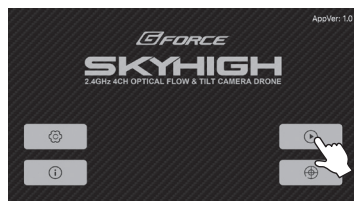
1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 接続する機器のWi-Fi設定に入ります。
3. 新しく検出したアクセスポイント「skyhigh-XXXXXX」を選択します。

※接続時にエラーが表示される場合は、エラーの内容を元に端末のWi-Fi設定を見直し、改善しない場合は各メーカーへお訪ね下さい。

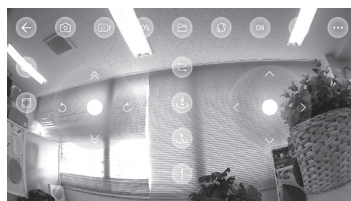


#### アプリの起動

1. インストールした「SKYHIGH-DRONE」アプリを起動します。
2. 初期画面の「⊕」をタップします。
3. 操作画面に映像が出てくれば接続完了です。



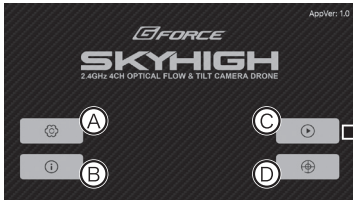
初期画面



操作画面

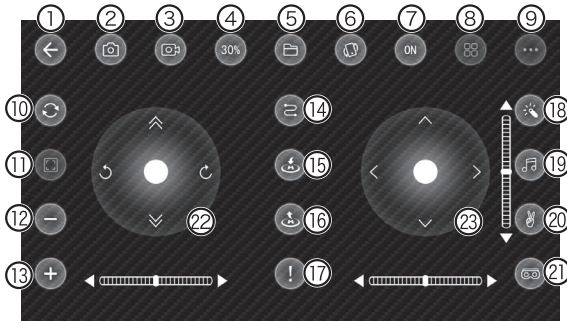
## アプリ画面の説明

### 初期画面



- Ⓐ 設定画面  
操作モードの変更ができます
- Ⓑ アイコンの説明
- Ⓒ 操作画面へ
- Ⓓ キャリブレーション  
機体のキャリブレーションを行います

### 操作画面



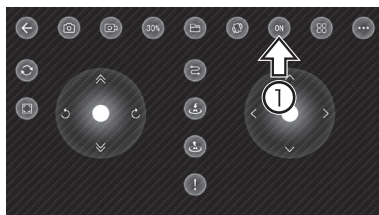
※画面は開発中の物です。

- ① 前の画面に戻る
- ② 写真撮影  
タップすると静止画が撮影できます
- ③ 動画撮影  
タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます
- ④ スピードの変更  
機体の動作速度を3段階で変更できます。30%(低速)→60%(中速)→100%(高速)
- ⑤ 撮影データ閲覧  
撮影した写真、動画を確認できます
- ⑥ チルト操作モード (16P参照)  
スマホの傾きで操作するモードにします
- ⑦ 操作パネルのON/OFF  
スマホで操作する場合はONにします
- ⑧ トリムレバーのON/OFF  
トリムレバーの表示/非表示を切替えます
- ⑨ 追加メニューの表示/非表示  
⑱～㉑のメニューを表示します
- ⑩ カメラアングル切替え  
フロントカメラとボトムカメラのアングルを切替えます
- ⑪ ズームメニューの表示/非表示  
⑫～⑬のメニューを表示します
- ⑫ カメラをズームアウトします
- ⑬ カメラをズームインします
- ⑭ トラッキングフライトモード (16P参照)  
指でなぞったルートに沿って飛行します
- ⑮ 自動着陸  
タップすると機体が降下し、自動着陸します
- ⑯ 自動離陸  
タップすると機体が浮上し、自動離陸します
- ⑰ 緊急停止  
プロペラの回転が止まり緊急停止します
- ⑱ フィルター機能  
映像に各種フィルターをかけられます
- ⑲ BGMモード  
選択したBGMを録音しながら収録できます
- ⑳ 使用しません
- ㉑ VRモード  
画面が左右分割表示されます
- ㉒ 左操縦桿  
機体の操縦に使用します
- ㉓ 右操縦桿  
機体の操縦に使用します

## スマートフォンからの操縦方法

スマートフォンから操縦を行なう場合は、送信機とバインドされていない状態で接続して下さい。

はじめに操作画面で①をタップし、操作パネルを表示させます。機体のLEDが点滅から点灯に変われば操縦可能な状態になります。



### 離着陸と緊急停止

#### 自動離陸

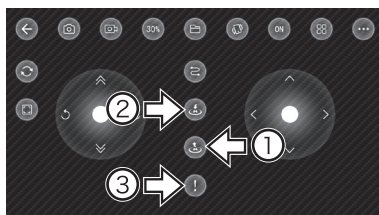
操縦可能な状態で①の自動離陸アイコンをタップすると機体が上昇し、一定の高度でホバリングします。

#### 自動着陸

フライト中に②の自動着陸アイコンをタップすると、機体が降り着陸します。

#### 緊急停止

フライト中に③の緊急停止アイコンをタップすると、プロペラの回転が止まり、緊急停止します。



### 基本操作

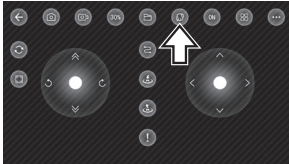
操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下 (スロットル)
			左右移動 (エルロン)
			前進・後進 (エレベーター)
			左右旋回 (ラダー)



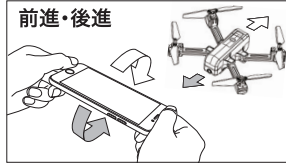
## チルト操作モード

スマートフォンを水平に持ち、チルト操作モードをONにします。自動離陸で離陸後、前進後進、左右移動、この4方向の動作がスマホの傾きに連動して動作します。

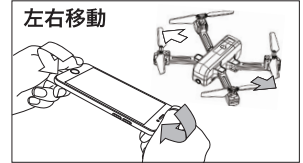
上昇・下降、左右旋回の操作はパネルのタッチ操作で行ないます。



アイコンが青色に変われば、チルト操作モード。



前進・後進  
スマホを奥に傾けると前進、手前に傾けると後進します。



左右移動  
スマホを左に傾けると左に、右に傾けると右にスライドします。

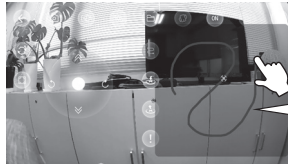
## トラッキングフライトモード

操縦可能な状態でトラッキングフライトモードをONにすると、トラッキングフライトモードになります。

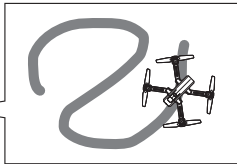
自動離陸で離陸後、指で描いたルートに沿って飛行します。上昇・下降の操作はパネルのタッチ操作で行います。



フライト中にトラッキングフライトモードアイコンをタップします。



スマホに描いたルートと同様の軌跡で機体が飛行します。



## 写真・動画の撮影

スマートフォンとの接続中、アプリ上のアイコンや送信機から写真や動画の撮影が行えます。撮影したデータはスマートフォンに保存されます。

### 写真・動画を撮影する

#### アプリから撮影する



① 写真撮影

タップすると写真(静止画)が撮影されます。



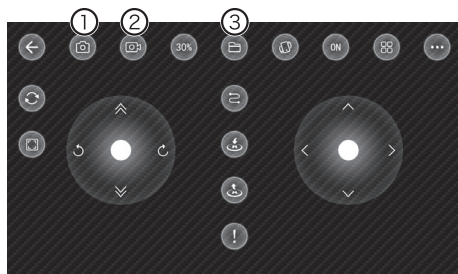
② 動画撮影

タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます。



③ 撮影データ閲覧

撮影した写真、動画を確認できます。



#### 送信機から撮影する

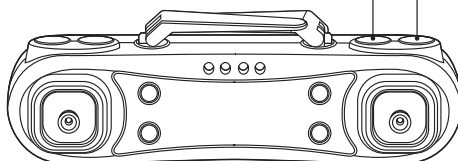
① 写真撮影

写真撮影スイッチを押すと、写真(静止画)が撮影されます。

② 動画撮影

録画・停止スイッチを押すと録画開始。もう一度押すと録画が終了し保存されます。

② 録画・停止  
① 写真撮影



### カメラ角度の調整

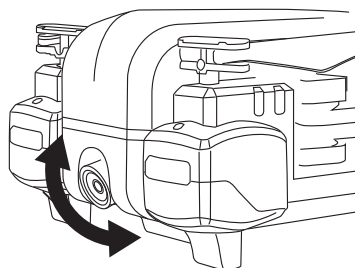
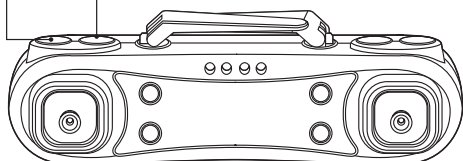
送信機からの操作でカメラの角度を上下に調整することができます。

カメラチルトアップ

押すごとにカメラの角度が上向きに動きます。

カメラチルトダウン

押すごとにカメラの角度が下向きに動きます。



## 6. サポート情報

### よくあるご質問(FAQ)

#### Q1. 機体にバッテリーをつないでも反応しない

- A1. バッテリーがしっかりと奥まで挿されているか確認して下さい。
- A2. バッテリーは正しく充電されていますか？他のバッテリーでお試し下さい。
- A3. 機体の電源スイッチがONになっているか確認して下さい。

#### Q2. 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった

- A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してみて下さい。
- A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

#### Q3. 今までは問題なくフライトできていたが、突然不安定になった

- A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換してみてください。
- A2. プロペラに変形や破損がないか確認し、問題がなければ一旦着陸させ、11Pの[ジャイロリセット]を行ってみて下さい。

#### Q4. フライト中、振動してしまう

- A1. ボディ・プロペラに破損や変形があると振動につながります。破損・変形がある場合は対象部位を交換して下さい。

#### Q5. プロペラを換えたなら離陸できなくなった

- A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。プロペラの取付位置に誤りがないか、7Pの[プロペラの交換方法]でご確認下さい。

#### Q6. 1つだけモーターが回らなくなってしまった

- A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、アームセットを交換して下さい。

#### Q7. 他の送信機で飛ばすことはできますか？

- A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機をご使用頂くことはできません。

#### Q8. 修理・調整を行ってもらえますか？

- A1. 恐れ入りますが、弊社では修理・調整は行っておりません。有償にて新しい商品と交換することは可能です。定価の60%(別途送料等ご負担頂きます)の価格で提供致します。販売店様または弊社サポートへお問い合わせ下さい。

#### Q9. 購入したばかりだが最初から全く動かないまたは最初から破損箇所がある

- A1. ご不便をお掛けし申し訳ございません。ご購入頂いた販売店様にまずご相談頂けますようお願い致します。必ず販売店様が発行された日付入りの領収書・納品書等をお手元に保管頂けますようお願い致します。

#### Q10. 機体単体で購入できないの？

- A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。

#### Q11. 屋外で飛ばすのに免許や申請は必要ですか？

- A1. 本製品は【200グラム未満】になり、航空法で定める「無人航空機」には該当しません。映像伝送も2.4G帯Wi-Fi電波を利用しているため免許や申請は必要ありませんが、楽しく製品をご利用いただくために、取扱説明書の内容に従い、安全とプライバシーにご配慮下さい。

## Q12. オリエンテーションモードがうまく動作しません

- A1. 機体を飛べる状態にした後、地上で機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態でオリエンテーションボタンを押して下さい。

## Q13. 使用中に送信機のパワーインジケーターが点滅し始めました。

- A1. 送信機のバッテリー残量が30%以下になるとパワーインジケーターが点滅します。送信機の充電を行なって下さい。

## Q14. Android端末で、アプリケーションに映像が映らない

- A1. 機体から出ているWi-Fiと接続できているにも関わらず、映像を確認できない場合は以下の方法をお試し下さい。

「Wi-Fiはインターネット未接続です」というメッセージ(図1)をタップすると「接続を維持しますか?」というメッセージ(図2)が表示されるので、「はい」と回答する。



図1



図2

- A2. 端末を機内モードにして頂いた状態でWi-Fiの接続を改めて行い、アプリケーションをご確認下さい。
- A3. 端末に入っているSIMカードを抜いた状態でWi-Fiの接続を行い、アプリケーションをご確認下さい。  
(※SIMカードを抜いたことによる損害・損失に関して、弊社は一切責任を負いません)

## アフターパーツ

品番	JAN	品名
GB031	4580416460316	LiPoバッテリー 3.7V 1800mAh [SKYHIGH]
GB032	4580416460323	ボディセット [SKYHIGH]
GB033	4580416460330	プロペラセット(4入り) [SKYHIGH]
GB034	4580416460347	フロントアームセット(A・B各1本入・ブルー) [SKYHIGH]
GB035	4580416460354	リアアームセット(A・B各1本入・レッド) [SKYHIGH]
GB036	4580416460361	カメラ用マイクロサーボセット [SKYHIGH]
GB037	4580416460378	プロペラガードセット [SKYHIGH]
GB038	4580416460385	スクリュースセット [SKYHIGH]

※当社では個人のお客様への直接販売は行っておりません。アフターパーツのお求めは、お取り扱い店舗様までお問い合わせ下さい。

## 製品サポートについて

### 保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。**保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要**です。購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。初期不良品につきましてはお手数ですが、弊社へお送り頂く前に事前にお電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

**※税込定価の60% (送料・代引手数料別)**

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。

ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

### お問い合わせ先

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

電話受付：月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間：AM10:00～PM18:00

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

[www.gforce-hobby.jp](http://www.gforce-hobby.jp)

販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階







## お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**

電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: AM10:00～PM18:00

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

※最新情報は弊社WEBサイト ([www.gforce-hobby.jp](http://www.gforce-hobby.jp)) でご確認ください。



輸入販売元: 株式会社ジーフォース  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます

Copyright © 2019 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

